

【生涯学習スポーツ課】知多市生涯学習まちづくり推進計画における令和7年度事業実績及び令和8年度事業計画について

基本 施策	推進項目	取組項目	今後の方向性	令和7年度 事業内容	令和7年度 事業実績	令和8年度 事業内容
1 学びにつながるきっかけづくり	(1) 学習ネットワークの活用	No.1 公共施設等で活動するサークル団体等のネットワークの活用	・市内の公共施設等で活動する各種サークル団体と学びたい人を結びつけ、市民団体の継続的な生涯学習活動を促すとともに、公共施設での学習相談を拡充します。 ・構築したネットワークを活用し、団体同士の交流を図ることで、さらなる活動の輪を広げていきます。	・各団体の掲載内容を最新のものにするため、掲載団体に掲載内容を確認し、情報誌を更新します。 ・引き続き「まなちた」掲載団体に加入を希望する市民と掲載団体との橋渡し役として、連絡・調整を行います。	・各団体の掲載内容を最新のものにするため、掲載団体へ内容確認を行い、令和8年度版を発行しました。 ・「まなちた」掲載団体への加入を希望する市民と掲載団体との橋渡し役として、連絡・調整を行いました。	・引き続き「まなちた」に掲載している団体と加入を希望する市民との橋渡し役として、連絡・調整を行います。 ・各団体の情報を最新のものにするため、随時課内で把握している団体情報を更新します。
	(2) 子どもの読書活動の推進	No.2 子どもの読書活動の推進に向けた学校、家庭、地域及び図書館による連携体制の充実	・子どもたちが自主的に読書をする習慣を身に付け、本との出会いや感動を通して知識を深め、豊かな感性を磨くことができるようにします。 ・幼少期から本に親しむ環境と機会を設け、「読書が好き」という子どもを市全体で育てていきます。 ・読書が嫌いな子ども、1か月にほとんど本を読まない子どもの割合（不読率）を減らします。 ・「知多市子ども読書活動推進計画」（令和3年～令和12年）を策定し、具体的な施策を行っています。	・開館45周年を記念して、夏休み期間に子ども達が体験できる様々なイベントを開催し、図書館になじみがない子供たちにも来館してもらえる機会を提供します。また、通年で実施しているお話し会や親子講座、ブック展などと合わせて、本と出会い読む楽しさ感じてもらう場を提供します。 ・第10回を迎える図書館を使った調べる学習地域コンクールでは、初めて参加する児童への支援講座を充実させるとともに、本を使って自ら調べ、まとめられるように支援を行います。 ・学校からの要請に応じ、貸出資料の配送・引き取り、英文多読資料の定期配本を行い、身近に本がある環境を提供します。また、出張ブックトークや学校図書室の支援を充実させ、図書室の利用促進を図ります。	・8月20日～31日まで2週間にわたり45周年記念イベントを開催しました。期間中吹き抜けを活用した水族館展示や、土日にはペイント体験、プラネタリウム、プログラミング、工作教室、人形劇、YASCによる謎解きタイムアタックなど様々な催しを開催しました。また、毎月の定期イベントに加え、5月には親子算数講座、7月には初心者向け英文多読講座を開催し来館機会を創出すると共に、本との出会いの場を提供しました。 ・調べる学習では、7月に小学校中学年、低学年を対象とした支援講座を開催しました。中学年向けは2日間の講座にして、時間をかけて作品作りに取り組めるようプログラムを組みました。また、夏休み期間中は相談スタッフを配置し、本を使った調べ方のサポートを実施しました。 ・学校支援として、モデル校を中心に学校図書室の除籍指導、図書委員への配架指導、出張ブックトークを実施しました。また、英文多読資料の定期配本、団体貸出資料の配送・引き取りを実施しました。 ・3月には小学生対象に英文多読講座を実施し子供が楽しみながら英語を学ぶきっかけづくりを提供しました。講談社との共催の人気イベント「全国お話し隊・キャラバンカー（移動図書館カー）見学会」と読み聞かせの運動開催を実施しました。	・図書館を使った調べる学習コンクール（第11回）は募集人数増やレベル向上のため複数回の説明会や講座内容の充実（工夫）を図ります。小学生の図書館見学による利用者数向上のきっかけ作りや好きな分類（本）の興味促進と専門家（大学教授など）による中学生向け学習支援講座や図書館協力団体との協働により若い世代に対する学習意欲と読書習慣の向上を図ります。 ・お話し会、英語お話し会を通じて幼少期から家庭に本がある状態を増やし、また英語・外国語（多読）に触れる機会（資料充実と講座）を増やすことでより高度な学びに繋げていきます。 ・学校連携による出張ブックトーク、図書室支援、貸出資料の配送を継続して実施します。
	(3) 多様な学習情報の提供	No.3 生涯学習ガイドブック「コノハナ」による多様な生涯学習情報の発信	・引き続き、生涯学習ガイドブック「コノハナ」による豊富な学習情報を提供するとともに、市民ニーズの高い生涯学習情報の把握に努めることで、市民の積極的な生涯学習活動を促します。また、協定を結んだ企業等と協議し、出前講座の内容の充実を図ります。 ・図書館への「生涯学習ブース」の設置や「学びネットあいち」との連携など効果的な情報提供を行います。また、生涯学習ガイドブック「コノハナ」を音訳・点訳して提供するなど、新たな情報発信手段を検討することで、いつでも、どこでも、だれでも生涯学習情報を受け取ることができるようにしていきます。	・ちた塾の講座に特化した生涯学習ガイドブック「コノハナ」にリニューアル予定です。引き続き、出前講座及び特集ページ等を掲載し、生涯学習活動を積極的に促します。 ・生涯学習ガイドブック「コノハナ」の他、新聞折り込み等による講座のチラシ配布を行います。 ・引き続き音訳・点訳した生涯学習ガイドブック「コノハナ」を提供します。	・令和7年度後期講座分より、ちた塾の講座に特化した生涯学習ガイドブック「コノハナ」を発行しました。リニューアルに伴い、1回限りのスペシャル講座を表紙に掲載し、全5回、全10回講座のような複数回にわたり日付が固定されている講座への参加が難しい学生にも、学習の機会を提供するとともに、新規の学生の獲得に努めました。 ・新聞折込チラシの配布を行うとともに、音訳・点訳した生涯学習ガイドブック「コノハナ」を提供し、より多くの人に周知を進めました。 ・令和8年度前期講座より、これまで4月に発行していた生涯学習ガイドブック「コノハナ」を前年度の3月に発行しました。それにより、募集期間を長く設けることができ、より多くの学生数の確保と事務負担を軽減しました。	・参加状況やアンケート等を通じて市民ニーズの的確な把握に努め、より多くの市民の関心や課題に応じた講座内容の充実を図ります。 ・より効果的に講座の周知を図るため、今後の生涯学習ガイドブック「コノハナ」の配布方法や周知方法を検討します。
2 多様なニーズに対応した学習機会の提供	(1) ライフステージに応じた学習の提供	No.4 市民大学ちた塾による新規講座の開拓	・世代を問わず、多くの市民に認識される市民大学ちた塾になっています。 ・仕事や子育てなどにより学習時間や場所が限られてしまう働く世代でも、学びやすい環境が整っています。	・教員・学生の高齢化に備え、引き続き土日や夜間講座の新規講座について検討します。 ・18歳以下を対象とした新規講座を開催予定です。 ・「ちたUMEプラス」を支援し、小学校での部活動の受け皿から中学校の部活動の地域移行に備えた検討を行います。	・教員・学生の高齢化に備えるとともに、新規学生の獲得に向け、土日や夜間に実施する講座について検討を行いました。 ・18歳以下も保護者同伴で参加可能とした講座を実施しました。参加者からは高い満足度が得られ、多くの好評の声が寄せられました。 ・「ちたUMEプラス」の支援を行うとともに、小学校における部活動の受け皿としての役割や、中学校部活動の地域展開に向けた検討を行いました。	・教員・学生の高齢化に備え、引き続き土日や夜間講座の新規講座について検討します。 ・より多くの人に学びの場の提供を行うため、スペシャル講座など18歳以下も参加可能な講座の開設を推進します。
	(1) ライフステージに応じた学習の提供	No.5 オンライン講座の配信	・いつでも、どこでも学習することができるよう出前講座に留まらず、市主催事業や共催事業など多種多様な講座を配信することで、視聴者が「見たい! 学びたい!」と思う動画を増やしていきます。また、SNS等を活用するなど、情報発信手段を工夫することで、より多くの市民に動画を視聴してもらい、タイムリーで効果的な情報提供をします。	・引き続き各課で動画の作成が進められるよう「動画の作成方法」を周知し、より多くの市民に効果的な情報が提供できるような動画作成を目指します。	・ほっとラインちたにおいて出前講座を取り上げる際、多様なニーズに対応するためオンライン出前講座についても案内をし、講座内容や利用方法の周知を行いました。 ・各課で動画の作成が進められるよう、引き続き「動画の作成方法」を周知し、より多くの市民に効果的な情報を提供できるよう努めました。	・オンライン出前講座について周知を行い、時間や場所にとらわれず学習できる環境づくりを推進します。
	(1) ライフステージに応じた学習の提供	No.6 学び直しの機会の提供（リカレント教育講座、公民館講座の開催）	・「学び直したい!」という市民の「欲求」に応える魅力ある「学びの場」づくりを目指します。 ・ニーズに合った企画や情報を提供し、指導者を大学や高校、企業、官公庁等からだけでなく、広く地域の中から発掘し、専門性の高いものから小さな子どもと一緒に学べるものまで、幅広く「リカレント教育」を応援します。	・愛知県の歴史や文化について楽しく学べる歴史・史跡見学を開催します。 ・市民の様々な分野に対する向学心に応えるため星城大学、日本福祉大学との提携講座（リカレント教育講座）を開催します。 ・地元の公民館元気プロジェクトとして、女性のための健康的なダイエット習慣と女性特有の疾病をテーマとしたMY定期講座を開催します。 ・科学やものづくりへの興味関心を高めるサイエンスツアーを開催します。 ・公民館での生涯学習活動のきっかけづくりとして、公民館活動の体験講座を開催します。	・「岩崎城址公園」を巡るツアーを5月11日に実施しました。 ・MY定期講座として女性のための「健康づくり応援」講座を6月8日と6月29日に実施しました。 ・リカレント講座として、星城大学提携講座を9月27日に、日本福祉大学提携講座を1月25日に実施しました。 ・公民館体験講座「ヨガ 体験講座」を10月13日に実施しました。 ・「トヨタ産業技術記念館」を見学するサイエンスツアーを11月2日に実施しました。 ・「わくわくサイエンスラボ「親子でランタンをつくらう」」を9月21日に実施しました。 ・法務局による「自筆証書遺言書保管制度」講座を2月13日に実施しました。	・愛知県の歴史や文化について楽しく学べる歴史・史跡見学を開催します。 ・市民の様々な分野に対する向学心に応えるため星城大学、日本福祉大学との提携講座（リカレント教育講座）を開催します。 ・地元の公民館元気プロジェクトとして、認知症をテーマとしたMY定期講座を開催します。 ・科学やものづくりへの興味関心を高めるサイエンスツアーを開催します。 ・公民館での生涯学習活動のきっかけづくりとして、公民館活動の体験講座を開催します。 ・法務局による「自筆証書遺言書保管制度」講座を開催します。
(1) ライフステージに応じた学習の提供	No.9 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	・マラソン大会などの各種スポーツ事業を開催し、競技力の向上やレクリエーションスポーツの普及が図られ、子どもから大人、高齢者や障がいのある人など、だれでもスポーツを楽しむことができる機会を提供し、市民一人ひとりのライフステージに応じたスポーツ活動を推進していきます。	・働く世代や子どもに加えて家族で参加でき、だれもが気軽に楽しめるイベントとして、ちた梅子マラソン大会を継続して開催します。 ・スポーツ協会やスポーツ推進委員会、レクリエーションスポーツ運営委員会などを中心に各種スポーツ事業を開催し、競技力の向上やレクリエーションスポーツの普及を図るとともに、子どもから大人までそれぞれのライフステージに合ったスポーツ活動の機会を提供します。	・働く世代や子どもに加えて家族で参加でき、だれもが気軽に楽しめるイベントとして、ちた梅子マラソンを11月16日に開催しました。 ・スポーツ協会やスポーツ推進委員会、レクリエーションスポーツ運営委員会などを中心に各種スポーツ事業を開催し、競技力の向上やレクリエーションスポーツの普及を図るとともに、子どもから大人までそれぞれのライフステージに合ったスポーツ活動の機会を提供しました。 →10月25日 レクスボひろば 等	・働く世代や子どもに加えて家族で参加でき、だれもが気軽に楽しめるイベントとして、ちた梅子マラソン大会を継続して開催します。 ・スポーツ協会やスポーツ推進委員会、レクリエーションスポーツ運営委員会などを中心に各種スポーツ事業を開催し、競技力の向上やレクリエーションスポーツの普及を図るとともに、子どもから大人までそれぞれのライフステージに合ったスポーツ活動の機会を提供します。	

【生涯学習スポーツ課】知多市生涯学習まちづくり推進計画における令和7年度事業実績及び令和8年度事業計画について

基本施策	推進項目	取組項目	今後の方向性	令和7年度 事業内容	令和7年度 事業実績	令和8年度 事業内容
2 多様なニーズに対応した学習機会の提供	(2) 伝統、文化、芸術の振興	No10 ジュニアサークル事業の充実	・既存のジュニアサークル団体へヒアリングを行い、支援方法の見直しを行うことで、より多くの子どもたちに文化・芸術活動を学ぶ場を提供できるよう取り組んでいきます。 ・経験豊かな地域の人材を発掘することで、新たな分野のジュニアサークル団体を増やし、子どもたちが集まる公共施設などでの事業周知をすることで会員数を増やしていきます。	・年1回、各団体を訪問し活動状況について調査します。また、実情に合わせた支援を行います。 ・会員減少の課題解決のため、チラシやSNS等で募集し、会員数の増加に努めます。 ・部活動の地域移行に合わせ、中学生の受け入れ先として周知を行います。	・12月に各団体を訪問し、活動状況について調査を行いました。 ・会員減少の課題解決のため、チラシや広報ちた、生涯学習ガイドブック「コノハナ」への掲載等で、引き続き会員の増加に努めた結果、会員数が増加し、団体からも喜びの声が寄せられました。 ・部活動地域移行に合わせ、中学生の受け入れ先として周知を行いました。	・ジュニアサークル団体の周知を引き続き行い、より多くの子どもたちに文化・芸術活動を学ぶ場を提供していきます。 ・ジュニアサークル団体と団体に加入を検討している市民との橋渡し役を担うとともに、団体が抱える問題に寄り添い、お困りごとについて一緒に考えサポートします。 ・部活動の地域展開に合わせ、中学生の受け入れ先として引き続き周知を行います。
		No11 市民美術展事業の充実	・市民参加型の取組を行い、美術展に興味関心を持って来場する市民を増やします。 ・出品規定の見直し、出品者へ来場者の感想をフィードバックするなど、より門戸の開かれた事業展開を行います。 ・宣伝媒体を工夫することで、「知多市民美術展にぜひ出品・来場したい」という市民を増やし、本市最大の美術の祭典にしていきます。	・11月22日～24日で3日間開催します。芸術に興味・関心ももてるよう来場者体験型の企画を行い、親しみやすい美術展にします。 ・市制施行55周年を記念して、市民の投票により決定する「市制施行55周年記念特別賞」を実施します。 ・市内企業や美術展出品者等から協賛金を募り、財源を増やすことで、より魅力的な美術展とします。 ・市各種SNSやポスター、新聞等の広告媒体でPRを行い、市民美術展の認知度及び来場者数の増加に繋がります。	・11月22日～24日で3日間開催しました。呈茶やつまようじアート等の来場者体験型の企画を実施し、市民に親しみやすい美術展となりました。 ・市制施行55周年を記念して、市民の投票により決定する「市制施行55周年記念特別賞」を実施し、来場者がより芸術に興味や関心を持つ機会を提供できました。 ・市内企業や美術展出品者等から協賛金を募り、財源を増やすことで、賞状や特別企画の内容が充実しました。 ・市各種SNSやポスター、新聞等の広告媒体でPRを行ったことで、市民美術展の認知度及び来場者数の増加に繋がりました。	・11月21日～23日で3日間開催します。作品展示以外にも来場者参加型の企画を実施し、多くの市民に親しまれる美術展にします。 ・電子フォームによる出品申込方法を導入し、出品しやすい環境を整えます。 ・奨励賞・梅子賞の数を固定せず、部門ごとに出品数に応じて設定することで、出品意欲の向上に繋がります。 ・市各種SNSやポスター、新聞等の広告媒体でPRを行い、市民美術展の認知度及び来場者数の増加に繋がります。
		No12 勤労文化会館事業の充実	・より多くの市民に対して、話題性のある文化芸術鑑賞事業やアウトリーチ活動、市民参加型事業などを実施することで、文化芸術は身近なものであると感じる市民が増えるよう取り組んでいきます。 ・ボランティア養成講座等を開催することで、地域で文化芸術活動をしている団体の支援をすることができる人材育成を行い、多くの市民が文化芸術に触れる場を提供していきます。 ・感染防止対策を講じた新しい生活様式を取り入れた事業を開催することで文化芸術に触れる機会が失われることが無いよう努めます。	・市制施行55周年、勤労文化会館開館40周年にあわせ、市民ニーズの高い鑑賞事業や、市民の参加できる市民オペレッタなど、周年にふさわしい事業を行います。 ・引き続き、市内小学校での活動がなくなった金管バンドクラブ活動については、子どもたちが金管バンドの活動ができるよう、「ちたUMEプラス事業」を実施し、発表の機会を増やします。また中学校の部活動地域移行に関する講座としての受け入れ態勢についても検討します。	・市制55周年、勤労文化会館開館40周年に合わせた市民参加型オペレッタ「こうもり」を12月27日(土)28日(日)に開催しました。入場者数も2日間で993名でした。また、今年度も第九演奏会では、入場者数が632名でした。また、2月15日に開催した沢田蒼梧ピアノリサイタルでも636名の入場者数がありました。 ・小中学生向けのクラブ活動受け皿事業である「ちたUMEプラス事業」を継続して行っている中で、テレビ朝日系列「題名のない音楽会」に取り上げられ、11月～12月に4週にわたって放映された中でプロの音楽家からの指導の下、大きな成長が見られました。部活動受け皿としての取り組みの先進事例として取り上げられたため、全国の注目度も増したと思われます。	・地元に着目したネットワーク構築を行い、今後の文化芸術、市民参加につなげていきます。また、より地元に着目した知多市民オーケストラなどによるアウトリーチ活動も行ってまいります。 ・引き続き、市内小学校での活動がなくなった金管バンドクラブ活動については、子どもたちが金管バンドの活動ができるよう、「ちたUMEプラス事業」を実施し、発表の機会を増やします。また中学校の部活動地域展開に関する講座として受け入れし、今後の体制について持続性を考え検討します。
		No13 歴史民俗博物館における各種展覧会の開催	・展覧会の内容の充実を図るため、収蔵資料だけではなく、他の博物館等の収蔵資料も併せて展示するなどの工夫をします。また、郷土の歴史や伝統・文化に関する調査研究の成果を展覧会や講座などを通してフィードバックし、市民の学びや郷土理解につなげ、郷土への親しみを深めてもらうことを目指します。 ・福祉施設や教育機関等に対し、展覧会などの案内や出前講座の提案をするなど、より開かれた博物館を目指します。	・特別企画展を含む7回の展覧会を開催します。特別企画展「収蔵記念 森岡完介展」は令和5年度に寄贈された作品を中心に作家所蔵のオブジェなどを企画展「知多市55年の歩み」は市制55周年に合わせた資料を展示します。郷土への愛着をより一層深めてもらえるように、知多地域に関連のある資料を展示します。 ・市内の学校には博物館事業のチラシの配信、配布を依頼し、PRに努めます。また、市内の幼稚園、保育園、小中学校に出前講座の提案を引き続き行います。	・特別企画展を含む7回の展覧会を開催しました。特別企画展「収蔵記念 森岡完介展」は令和5年度に寄贈された作品を中心に作家所蔵の陶板やオブジェ、個人所蔵の油彩画や水彩画などを展示しました。また、企画展「知多市55年の歩み」では、市制55周年に合わせた資料とともに個人コレクションのアトムグッズも展示しました。郷土への愛着をより一層深めてもらえるように、知多地域に関連のある資料の展示に努めました。 ・市内の学校には博物館事業のチラシの配信、配布を依頼し、PRに努めました。また、八幡小学校、新田小学校、つつじが丘小学校、知多翔洋高校と新知コミュニティで出前講座を実施しました。	・企画展、収蔵品展7回の展覧会を開催します。企画展「知多の観光」は江戸時代から現在までの知多市の観光の歴史を紹介します。企画展「宮脇綾子展」は、令和7年度に寄贈された作品をはじめ所蔵している作品を展示します。企画展、収蔵品展を通じて、郷土への愛着をより一層深めてもらえるよう努めます。 ・市内の学校には博物館事業のチラシの配信、配布を依頼し、PRに努めます。また、市内の幼稚園、保育園、小中学校に出前講座の提案を引き続き行います。
3 学習環境の充実	(1) 生涯学習関連施設の充実	No15 市民が利用しやすい新図書館の整備	・新図書館は、「新図書館基本計画」に沿って、基本理念である「知をもとめ 多世代つとよ いこいの場」及び3つの基本方針である「ともに学び合い、知を育む図書館」「多世代にやさしい図書館」「くつろぎと憩いの図書館」の実現を目指します。 ・子どもから若者、子育て世代、高齢者まで様々な年代が、気軽に知識や情報を得られるとともに、学生、会社帰りの社会人などの自主学習やビジネス利用、多世代の居場所としてゆったりとくつろげる知と憩いの拠点施設を目指します。	・朝倉駅周辺整備事業の進捗に併せ、市民と来訪者の交流を生み出し、朝倉駅周辺のエリア価値を高めるような「図書機能を持つ交流の場」として整備できるよう、関係各課と連携をとりながら事業の検討を行います。	・図書機能を有した先進事例となる公共施設の視察を行ったほか、新図書館基本計画の活かし方について検討を進めるとともに、長寿命化予定となった中央図書館のリノベーションについても検討を進めました。	・引き続き、朝倉駅周辺整備事業の進捗に併せ、「図書交流施設」の整備を関係各課と連携をとりながら検討を行うほか、長寿命化予定となった中央図書館のリノベーションについても併せて検討します。
		No16 スポーツ施設の整備	・スポーツを通じた健康づくりのまちとして知られるようになり、サッカーの大会など、各種スポーツイベントを通じた交流を求めて、全国からスポーツ好きが集まり、賑わいが生まれ魅力ある場所となるよう支援していきます。 ・新たにスポーツを始める市民が増え、子どもから高齢者まで多くの市民がスポーツを楽しめるよう、健康増進施設や多目的グラウンドなどを整備、活用していきます。	・愛知県サッカー協会が整備したフットボールセンター知多でサッカーの大会や地域のイベントが開催され、賑わいが生まれ魅力ある場所となるよう支援するとともに、包括協定を締結した名古屋オーシャンズと連携・協力し、知多市民体育館でのF(フットサル)リーグプレシーズンマッチの開催に向け調整を進めます。 ・野球、サッカー、ソフトボール、グラウンド・ゴルフなどの利用ができる南5区多目的グラウンドで各種スポーツ事業を実施するとともに、市民団体の利用の促進及び施設環境の充実を図ります。	・愛知県サッカー協会が整備したフットボールセンター知多でサッカーの大会や地域のイベントが開催され、賑わいが生まれ魅力ある場所となるよう支援しました。 また、8月31日に知多市民体育館で名古屋オーシャンズの公式戦が開催されました。 ・南5区多目的グラウンドでは、各種スポーツ事業を実施するとともに、市民団体の利用促進を図りました。 →11月8日 市グラウンド・ゴルフ大会、11月23日 市モルック大会 等	・愛知県サッカー協会が整備したフットボールセンター知多でサッカーの大会や地域のイベントが開催され、賑わいが生まれ魅力ある場所となるよう支援するとともに、包括協定を締結した名古屋オーシャンズと連携・協力し、知多市民体育館でのF(フットサル)リーグプレシーズンマッチの開催に向け調整を進めます。 ・野球、サッカー、ソフトボール、グラウンド・ゴルフなどの利用ができる南5区多目的グラウンドで各種スポーツ事業を実施するとともに、市民団体の利用の促進及び施設環境の充実を図ります。

【生涯学習スポーツ課】知多市生涯学習まちづくり推進計画における令和7年度事業実績及び令和8年度事業計画について

基本 施策	推進項目	取組項目	今後の方向性	令和7年度 事業内容	令和7年度 事業実績	令和8年度 事業内容
3 学 習 環 境 の 充 実	(1) 生涯学習関連施設の充実	No17 中央図書館サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ニーズを把握し、話題性のある図書資料の収集を行うほか、市民が興味を持てる題材を提供するなどし、学びを習慣づける支援を行うことで、市民は自ら学びを切り開く力が身につけています。</li> <li>・市民が積極的に生涯学習活動に取り組めるよう、図書館協力団体をはじめとした団体や小・中・高等学校と連携・交流の機会を提供するとともに、市民参加型の事業を展開することで、知の拠点として地域をつなぐ図書館を目指します。</li> <li>・電子書籍等、新しい書籍の提供方法を検討していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月に開館45周年を迎えるにあたり記念イベントを開催するとともに、年間を通じて話題性のある各種講座・ワークショップなどを開催し、新しい知識に触れ、更に学びたいと思える機会を提供します。</li> <li>・英語や他言語によるお話し会を定期に開催し、語学学習だけではなく多文化に接する機会を提供します。</li> <li>・図書館協力団体の活動継続に向けた支援を行い、また中学生ボランティアやYAサポータークラブの活動を推進し、施設見学を受け入れや学校への資料配送などと合わせて地域との連携を積極的に進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月20日～31日まで2週間にわたり45周年記念イベントを開催しました。期間を通じた貴重資料の展示や土日にはコーヒーセミナー、健康教室、プラネタリウム、メモ帳作り、吹奏楽演奏、ヨガ教室など様々な催しを開催し、最終日には中山七里氏をお招きし作家講演会を開催しました。また、定例となっている教養/マネー/英文多読などの各種講座に加え認知症サポーター養成講座も開催し、知識を拡げる機会を提供しました。</li> <li>・毎月3回子供向けの英語お話し会を開催しており、そのうち1回は海外の文化を紹介しています。フィリピン、オーストラリア、ルワンダ、アメリカ、カタールなどの文化に触れる機会を子供だけでなく保護者の方にも提供しました。</li> <li>・協力団体への活動場所の提供に加え、11月には新規会員の獲得を目指して音訳ボランティア入門講座を開催しました。YAサポータークラブは45周年記念イベントで自主企画イベントの実施や水族館展示の製作、また隔月で「司書たま」を発行するなど、図書館もその活動を推進しました。また、夏休み中の中学生ボランティア、小学生の施設見学など図書館をより身近に感じてもらえるよう活動しました。</li> <li>・学校連携モデル校の岡田小、新知小、八幡小に加えつつしが丘小でブックトーク、学校図書委員への指導活動(十進法理解、図書の修理講座)を通じ学校連携を図りました。</li> <li>・3月、年度末恒例のセンター図書まつり(旭・八幡・東部センター)も本の無料譲渡会とクイズラリーを実施することで、センター図書室への利用促進に繋げる事ができました。</li> <li>・英語お話し会 Fun Fun Story Time, Step into the World(個人ボランティア)は開始から1年が経過し、人気のある図書館の定例イベントとして定着しました。月1回のStep into the Worldでは、海外出身の方や海外経験のある方に各地の文化を紹介していただいております。これまでフィリピン、オーストラリア、ルワンダ、アメリカ、カタール、ベトナム、ポーランドについて歴史・文化・生活を学ぶ機会を提供しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月時節や社会的イベント(話題)に合わせたテーマ設定による一般、児童コーナーでのブック展を展開し、合わせて地域、世代、時流に合った話題を意識した各種講座、ワークショップを年間を通じて開催することで図書利用と知多市民の知識の向上を図ります。</li> <li>・多文化の共生(外国人市民交流)、大人(シニア含む)の学び支援、幼少期からの外国語に触れる機会(講座・イベント)を提供し、誰でも心地よく過ごせ、わくわくする気持ちになれる場所として、生涯にわたる学習支援を継続させます。前年度実施講座などは効果に対する課題を改善、工夫(内容や対象者)し、より利用効果を検討していきます。</li> </ul>
		No18 勤労文化会館の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のニーズを把握するとともに、施設の有効活用や全館利用できる公衆無線LANの整備、柔軟な利用が図られる時間帯変更を検討し、市民の文化芸術活動がより活発に行われ、学習の幅を広げることができる文化会館を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市制施行55周年、勤労文化会館開館40周年にあわせ、市民ニーズの高い鑑賞事業や、市民の参加できる市民オペレッタなど、周年にふさわしい事業を行います。</li> <li>・第九演奏会では市民参加の合唱団を組織して毎年行っておりますが、令和7年度は、公募で参加できる市民オペラ「こうもり」を開催し、市内外からの参加を呼びかけます。</li> <li>・無線LANの使用可能場所を徐々に広げていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周年事業として市民オペレッタ「こうもり」を12月27日(土)28日(日)に開催し、市民参加の合唱団として67名参加しました。第九演奏会は3月1日に開催し、市民参加の合唱団として65名参加しました。</li> <li>・令和7年度中に無線LANの使用可能場所を2階展示室から会議室でも使えるように整備しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ニーズの高い鑑賞事業では、竹内久恵先生や、牛田智大さん、名フィルなど、集客につながる事業も主催・共催で行ってまいります。</li> <li>・市民の参加できる知多市民オーケストラや、第九演奏会、ちたUMEプラスなど、市民参加の団体を引き続き組織していきます。</li> <li>・無線LANの使用可能場所を徐々に広げていきます。</li> <li>・レストランススペースのさらなる活用方法として提供を行ってまいります。</li> </ul>
		No19 ふれあいプラザの有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の拠点として、学びのニーズを反映させるとともに、新たな事業である「青少年発明クラブ」の実施や「ふれあい」事業の拡大などにより、新たな学びの機会を提供し、若い世代などへの公民館利用拡大を目指します。</li> <li>・施設の仕様や備品、利用区分の見直しを検討し、だれもが使い勝手がよく、居心地のいい施設づくりを目指します。</li> <li>・複合施設「ふれあいプラザ」の利点を最大限に活かし、各施設の垣根を越え、様々な団体や機関等がつながり、さらなる生涯学習の輪を広げることを目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の生涯学習活動の拠点施設として、青少年発明クラブ、大学や企業と連携したリカレント講座の開催など、学習機会を提供します。</li> <li>・老朽化した自動ドアの修繕など、利用者のニーズに合った施設整備を行い、施設の利便性向上を図ります。</li> <li>・児童センター及び男女共同参画センターとともに様々な団体や機関がつながり、ふれあいプラザ祭を開催し、青少年発明クラブの作品展も同時に開催します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年発明クラブは、今年度より3クラスに分けて毎月活動しました。また、学習機会の提供として大学提携講座、公民館自主講座等を開催しました。</li> <li>・自動ドア等の修繕により、施設の利便性の向上を図りました。</li> <li>・児童センター及び男女共同参画センターとともにふれあいプラザ祭を開催し、同時に青少年発明クラブ作品展を開催しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の生涯学習活動の拠点施設として、青少年発明クラブ、大学や企業と連携したリカレント講座の開催など、学習機会を提供します。</li> <li>・老朽化が進んでいる施設の適正維持を図るため、屋上防水及び外壁の改修工事を行います。</li> <li>・児童センター及び男女共同参画センターとともに様々な団体や機関がつながり、ふれあいプラザ祭を開催し、青少年発明クラブの作品展も同時に開催します。</li> </ul>
		No20 歴史民俗博物館の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集資料を活用した教育活動を推進するため、小・中学校などの教育施設と連携し、館内で実施する教室等のほか、館外での出前講座や資料の貸し出し等を行います。また、他の博物館等と連携し、収集資料の貸借、情報交換を密にして、より魅力的な事業を展開します。</li> <li>・展示解説等をデジタル化し、スマートフォン等で閲覧できる資料の拡充を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が必要とする出前講座を積極的に実施します。また、他の博物館等に定期的に連絡し、情報交換に努めます。</li> <li>・スマートフォンを使って閲覧できる常設展示解説の内容を充実させ、新たに収集した資料をデータベースへ定期的に登録することで、ホームページで閲覧できる資料を増やし、様々な方に博物館の所蔵資料について知ってもらう機会を提供していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の3小学校、知多翔洋高校、新知コミュニティで出前講座を実施しました。また、刈谷市歴史博物館に資料を貸し出しました。</li> <li>・スマートフォンを使って閲覧できる常設展示解説の内容の充実を図っています。また、新たに収集した資料をデータベースへ定期的に登録しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が必要とする出前講座を積極的に実施します。また、他の博物館等に定期的に連絡し、情報交換に努めます。</li> <li>・スマートフォンを使って閲覧できる常設展示解説の内容を充実させます。また、新たに収集した資料をデータベースへ定期的に登録することで、ホームページで閲覧できる資料を増やし、様々な方に博物館の所蔵資料について知ってもらう機会を提供していきます。</li> </ul>
4 学 校 、 家 庭 、 行 政 の 連 携 、 民 間 団 体 、 企 業	(1) 地域で子どもを育てる環境づくり	No23 地域学校協働本部の設置及び地域学校協働活動推進員の配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指し、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働していきます。</li> <li>・地域住民等も教育の当事者になることで、責任感を持ち、積極的に子どもの教育に携わり、学校運営や教育活動へ参画することで、生きがいにつながり、子どもたちの学びや体験の充実を図ります。</li> <li>・地域住民等と学校が「顔が見える」関係となり、地域住民等の理解と協力を得た学校運営を実現します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用を開始した旭南中地区(南粕谷小、旭東小、旭南小、旭南中)の地域学校協働本部では、引き続き地域学校協働活動推進員を中心に、地域と学校の連携事業を実施するとともに、導入から3年が経過する南粕谷小学校においては教職員及び児童に再度地域学校協働活動の周知を行います。</li> <li>・令和9年度から運用開始予定の八幡中学校地区(八幡中、八幡小、つつしが丘小)及び中部中学校地区(中部中、新知小、佐布里小)における地域と学校の連携状況を把握するとともに、各地域の特色を活かした新制度の導入を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旭南中学校区(4校)において隔月で打合せを行い、各本部の進捗状況を共有するとともに、中学校区内の小中学校の連携を図りました。また、統括コーディネーターが定期的に本部へ出向き、地域学校協働活動推進員の支援を行いました。</li> <li>・八幡中学校区(3校)及び中部中学校区(3校)については、令和9年度の運用開始に向け、統括コーディネーターを中心に、学校長と随時打合せを行い、制度説明及び今後のスケジュールを共有することに加え、地域学校協働活動推進員の活動場所について検討を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用を開始した旭南中地区(南粕谷小、旭東小、旭南小、旭南中)の地域学校協働本部では、引き続き地域学校協働活動推進員を中心に、地域と学校の連携事業を実施します。</li> <li>・令和9年度から運用開始予定の八幡中学校地区(八幡中、八幡小、つつしが丘小)及び中部中学校地区(中部中、新知小、佐布里小)では、現在、各地区と学校が連携、協働して活動する仕組みを生かしながら、より円滑な連携体制を構築するため準備を進めます。</li> <li>・八幡中学校地区、中部中学校において地域向けの研修会等を開催することで、新たな制度の概要や仕組み等を周知するとともに、幅広く地域住民に対して参画を依頼します。</li> </ul>
	(2) 多様な機関との連携事業の実施	No28 青少年発明クラブの発足と促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの工作や実験を通して、互いに高め合い、発想の引き出しを増やし、子どもたちの創造力を養います。</li> <li>・キャリアデザインとして「ものづくり」分野への志向を広げ、身近な生活の中にも「科学」を追求する人間形成を図ります。</li> <li>・大人になった会員がさらに下の世代へ科学技術や多角的なものの考え方を伝えていくサイクルをつくりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年発明クラブを基礎クラス、応用クラス1、応用クラス2の3クラスに分け、計画どおりに1年間ものづくりや実験ができるよう、活動を支援します。</li> <li>・発明協会が主催する創意くふう展に出品するため、指導員とともに作品の制作活動を支援します。</li> <li>・指導員との打合せ会を開催し、翌年度以降の活動計画を協議します。</li> <li>・3クラス体制及びくふう展作品の指導のため、指導員及びボランティアを募集します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月20日に青少年発明クラブの開講式を開催し、7年度から基礎クラス、応用クラス1、応用クラス2の3クラスに分かれて1年間ものづくりや実験などの活動を支援しました。</li> <li>・創意くふう展への出展やアイチータ杯への出場のため、指導員とともに準備活動を支援しました。</li> <li>・指導員打合せ会及び企画運営委員会において7年度活動報告、決算、8年度活動計画、予算を協議しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎クラス、応用クラス1、応用クラス2の3クラスに分け、計画どおりに1年間ものづくりや実験ができるよう、活動を支援します。</li> <li>・特別応用コースにおいて、ロボットを動かすプログラミングに挑戦し、アイチータ杯への参加を支援します。</li> <li>・発明協会が主催する創意くふう展に出品するため、指導員とともに作品の制作活動を支援します。</li> <li>・指導員との打合せ会を開催し、翌年度以降の活動計画を協議します。</li> </ul>

【生涯学習スポーツ課】知多市生涯学習まちづくり推進計画における令和7年度事業実績及び令和8年度事業計画について

基本施策	推進項目	取組項目	今後の方向性	令和7年度 事業内容	令和7年度 事業実績	令和8年度 事業内容
4 学校、家庭、地域、民間団体、企業、行政の連携	(2) 多様な機関との連携事業の実施	No.31 学校と地域におけるスポーツ活動の充実	・子どものときから運動に親しむ習慣を身に付け、体力を高められるよう学校や地域において子どもの体力の向上に取り組んでいきます。 ・中学校での部活動指導員の導入や地域における指導者の人材確保など、学校と地域におけるスポーツ活動の充実を図ります。	・市内の10小学校の教員を対象に、子どもの体力向上実践事業を展開し、子どもの体力向上を促進します。 ・身近な場所で子どもや大人がスポーツを楽しめる機会を提供するため、学校施設開放を継続して行います。 ・令和7年9月より休日の中学校部活動廃止に伴い、地域のスポーツ団体の掘り起こしを行うなど、中学生のスポーツ活動に親しむ機会を確保します。	・市内の10小学校教員を対象に子どもの体力向上実践事業を展開し、子どもの体力向上を促進しました。→8月 実技研修、10月8日 講演会 ・学校施設開放を継続して行い、身近な場所で子どもや大人がスポーツを楽しめるよう機会を提供しました。 ・令和7年9月より休日の中学校部活動が廃止されたことに伴い、中学生を受け入れている地域クラブの紹介を行いました。 また、市内で活動しているジュニアスポーツクラブに対して、活動費の一部を助成しました。	・市内の10小学校の教員を対象に、子どもの体力向上実践事業を展開し、子どもの体力向上を促進します。 ・身近な場所で子どもや大人がスポーツを楽しめる機会を提供するため、学校施設開放を継続して行います。 ・令和7年9月より休日の中学校部活動が廃止されたことに伴い、中学生を受け入れている地域クラブの紹介を行う等、地域連携を進めていきます。 また、市内で活動しているジュニアスポーツクラブに対して、活動費の一部を助成し、クラブ活動の運営を引き続き支援します。
		No.32 まちかどギャラリー事業の充実	・作品の感想を展示者に伝えるような仕組みをつくることで、さらに展示者の創作意欲を高め、事業の活性化を図ります。また、オンライン動画配信やSNSなどを活用し、事業周知を行うとともに、新規展示会場の発掘・幅広い年齢層への働きかけを行うことで、多世代の市民交流の場とするともに、多様な文化芸術活動の支援を目指します。	・最新の予定表案内を半期毎に送付することで周知を行い、各会場での展示回数を増やしていきます。 ・各会場で展示状況のヒアリングを行い、課題や問題点などを聞き取り現状把握を行います。 ・展示回数の少ない会場は集約するなど、今後の在り方について検討します。	・半期毎に最新の予定表案内を送付し、展示者への周知を行うとともに、展示機会の確保に向けた取り組みを行いました。 ・展示がある時期に各会場にヒアリングを行い、課題や問題点を聞き取りました。 ・展示回数の少ない会場について、集約化に向けて検討を行いました。	・展示者への周知を引き続き行い、より多くの人に展示する機会を提供します。 ・展示回数の少ない会場について、展示会場を含めた打合せを行い、今後の在り方を検討します。
5 学習成果を活かす機会の充実	(1) 学習を発表する機会の提供	No.33 市民大学ちた塾による地域還元事業の推進	・市民大学ちた塾の学びの輪をつなげることができるよう、多様な年代の人たちが交流できる場を地域の中につくり、市民大学ちた塾の講師や学生が、学習成果を発表、教え合うことのできる場とします。 ・市民大学ちた塾が生涯学習を日常に取り入れる基盤となれるよう、まちの先生事業をモデルとし、知多半島内の学校とのつながりを持ちます。また、他市町の市民大学とも連携し、横のつながりによるまちづくりを進めていきます。 ・学習成果を地域社会へ還元する取組を推進することで、地域活動への参加意識の高揚を促し、地域で活躍できる人材の育成をしていきます。	・市民大学ちた塾の会員が、学習成果発表の場としてまちかどギャラリーを活用してもらえるよう、事業の提案を行い、学びの輪をつなげていきます。 ・市民大学ちた塾の講師に対して、市内公共施設で開催される成果発表となるようなイベント等の情報を提供します。	・市民大学ちた塾の教員に向け、学習成果発表の場としてまちかどギャラリーを活用してもらえるよう周知を行い、書や手工芸など美術の分野で展示を行いました。 ・引き続き、市内公共施設で開催される成果発表や関連イベントについて、必要に応じて情報共有を行いました。	・市民大学ちた塾の教員に向け、学習成果の発表の場としてまちかどギャラリーを活用してもらえるよう、引き続き周知を行います。 ・市民大学ちた塾開学25周年記念に向けて、市内での発表の場となる機会について情報収集し、提供して行きます。
		No.42 博物館中高生ボランティアの育成	・中学生と高校生を対象としたボランティアを新たに募集し、養成講座や実習を通して郷土の歴史や文化を学ぶ機会を設けることで、若い世代の文化的活動を支援し、地域で活躍できる人材の育成に努めます。あわせて、博物館活動にも参加してもらい、博物館事業の充実を図っていきます。	・市内の中学校、高校に中高校生ボランティアのチラシの配信を依頼し、ボランティアを引き続き募集します。郷土の歴史や文化についての講座や博物館事業の運営に接する機会を提供することで、将来、郷土の歴史や文化、博物館業務といった専門分野への道を志す若者を支援し、今後地域で活躍できる人材の育成を図っていきます。	・市内の中学校、高校にチラシを配布し、15人が登録しています。育成講座を開催し、子ども向け講座や綿織りの講師、産業まつりでの火おこし体験の補助、ひな壇の設置作業、七曲古窯の清掃など幅広い事業に参加してもらいました。	・市内の中学校、高校に中高校生ボランティアのチラシの配信を依頼し、ボランティアを引き続き募集します。郷土の歴史や文化についての講座や博物館事業の運営に接する機会を提供することで、将来、郷土の歴史や文化、博物館業務といった専門分野への道を志す若者を支援し、今後地域で活躍できる人材の育成を図っていきます。
6 人材育成・活用	(1) 地域で活躍できる人材の発掘・育成	No.43 学校支援ボランティア等養成講座の実施	・活動の流れや子どもへの対応の仕方がわからないという方を減らし、未経験の活動にチャレンジする方を増やしていきます。 ・これから学校で活動しようとするボランティアへ、活動中のボランティアからノウハウを伝える機会を増やすことで、ボランティア同士の連携を促進し、相乗効果により、さらに学校のため・地域のために充実した支援が行えるようになります。	・令和7年4月よりちたっ子ボランティアハンドブックが更新されることに伴い、ちたっ子ボランティアについて説明する講座を実施し、地域で活躍できる人材の発掘を行います。	・地域で活躍できる人材の発掘を行うため、ちたっ子ボランティアと地域学校協働活動について説明する講座を3月に開催しました。	・令和9年度より地域学校協働本部を導入する八幡中学校区と中部中学校区で、地域住民説明会を開催します。制度への理解を深めてもらうとともに、今後地域で活動していただける人材の発掘につなげます。
		No.48 統括コーディネーター、地域コーディネーター、学校支援ボランティアの配置	・地域住民、学生、保護者、NPO等、民間企業、団体・機関などの幅広い参画を得て、地域全体で継続した子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働していきます。	・専属の統括コーディネーターが学校と地域の連携・協働体制の構築においてさらなる支援を行います。 ・地域学校協働本部を導入した3小学校区では引き続き地域住民へボランティアを募集していきます。旭南中学校区ではボランティア活動への参加を希望する生徒を地域からのボランティア要請とマッチングを行います。 ・導入から4年目を迎える南粕谷小学校区では学校と地域だけでなく保護者や民間企業など、多方面からの参画を目指して連携・協働を支援していきます。	・専属の統括コーディネーターが定期的に本部へ出向き、学校と地域の連携・協働体制の構築においてさらなる支援を行いました。 ・旭南中学校区地域学校協働本部ではボランティア活動の参加を希望する生徒と、地域及び市内で活動している団体等からのボランティア要請とのマッチングを行いました。	・専属の統括コーディネーターが学校と地域の連携・協働体制の構築において継続的に支援を行います。 ・地域学校協働本部を導入した3小学校区では、引き続き地域住民へボランティアを募集していきます。また、ボランティアの人材が不足する場合は3小学校区で情報を共有し、円滑なボランティア活動に繋げていきます。 ・旭南中学校区ではボランティア活動への参加を希望する生徒を、地域や団体からのボランティア要請とマッチングを行います。